獨逸經濟學界近況（二）

米田庄太郎

もむばーとノ「勞働力ノ經濟」*、

日々戰後ノ問題ヲ論述スル新聞雜誌ノ論文ヤ、又該問題ヲ論究スル多數ノ著作ヲ通觀スルト、吾人ハ其ノ中ニ斷ヘズ識者ノ注意ヲ惹起シツツアル一問題アルヲ見ル。夫レハ平和條約締結ノ後、獨逸國民ハ如何ニシテ其ノ生産ヲ大ニ增進セシメ、以テ戰爭ヨリ受ケタル重大ナル經濟的紊亂ヲ修理スルコトガ出來ルカト云フ問題デアル。而シテ此ノ問題ニ關シテ總テ識者ノ着目シテ居ル點ハ、ツマリ獨逸ノ生産ヲ最高度ニ增大セシメ、又戰前ニ於テ獨逸ヲシテ精力ノ國及ビ富ノ多産的活動ノ國トナラシメタ其ノ偉大ノ基礎ヨリ之ヲ大ニ離レシムルト云フコトデアル。カカル目的ヲ眼中ニ置テ、科學的ニ考究シテ見ルト、茲ニ解決ヲ要スル二重ノ問題アルヲ發見スル。一ハ一社會經濟ノ生産ノ爲メニ働ク力ハ何ニヨリテ決定サレ、又吾人ハ之ヲ如何ニ觀念ス可キカト云フ問題ニシテ、二ハ右ノ問題ノ解決ニ基ヅキテ提出セラル可キ、最大生産ヲ招致スル手段及方途ハ何デアルカト云フ問題デアル。

總テ私經濟ノ目的ハ、個人的生産ノ價格ヲシテ、其ノ生産ニ於テ要セシ費用ヲ出來ルダケ十分ニ償ハシムルコトデアル。併シ之レト異リテ公經濟ニ於テハ報酬ハ財貨ノ生産的技術的結果ニ於テ止マラズ、更ニ遙カニ夫レ以上ニ進ムモノデアル。戰後獨逸國民ハ今日「食物領分」ト稱セラレテ來タ富ノ其ノ生産的領分ヲ大ニ增加セネバナルマイ。而シテ之ヲナシ得ル方法ハ二ツアル。一ハ自國ノ生産ヲ大ニ增進セシメント努力スルコトニシテ、二ハ獨逸ニ於テハ人口ノ大ナルガ爲メニ大ニ乏シクナレル其ノ原料品或ハ其ノ活動ノ領分ヲ外國ニ求ムルコトデアル。併シ何レノ場合ニ於テモ、企業ノ成功ハ一ニ獨逸國民ノ生産的及ビ經濟的活動力ニ依屬スルモノデアル。社會經濟ハ國民ノ必然的ニ要求スル其ノ所謂「消費基本」ヲ國民ニ供給ス可キ任務ヲ

* P. Mombert, Die Oekonomie der Arbeitskraft.(Jahrbücher für Nationalökonomie und Statistik. mai, 1917.)

有スルモノデアル。而シテ其ノ「消費基本」ナルモノノ重要ノ大小ハ國民ノ生産的活動力ノ大小ノ標章或ハ反射鏡デアル。但シ消費サレル財貨ノ分量ノ大小ヲ示スト云フ意味デハナク、必要ナル費用ヲ除キタル後ニ殘ルまーぢんノ大小ヲ示スト云フ意味ニ於テデアル。

獨逸ガ今日到達セル文化階段ニ於テハ其ノ生産ニ協働スル因素ハ、土地、勞働及ビ資本ノ三者デアル。而シテ此等ノ三因素ハ夫レ夫レ自己特有ノ經濟ヲ具フ。卽チ土地利用ノ經濟、資本創造ノ經濟、及ビ勞働ノ經濟等ガアル。人口ト經濟トノ間ニハ二重ノ依屬關係ガアル。卽チ人間ハ生産者デアルト共ニ、又消費者デアル。彼等ハ勞働ノ力トシテ働クト同時ニ、又其ノ勞働ノ消費者トシテ働ク。此ノ如キ人口ト消費トノ依屬關係ハ人口問題ト稱セラレ、まるさすノ名ニ結ビ付イテ傳ハツテ居ル。而シテ此ノ問題ハ各國ガ其ノ人口ヲ支持スル爲メニ有スル能力ニ關スルモノデアルガ、更ニ是レト結ビ付ケル他ノ問題ガアル。卽チ人間ハ生産者トシテ如何ナル能力ヲ發現スルカト云フ問題ニシテ、特ニ獨逸ニ就テ云ヘハ、獨逸ノ將來ニ於テ獨逸勞働ハ如何ナル任務ヲ有スルカト云フ問題デアル。

土地、勞働及ビ資本ノ三因素ハ、相互ニ親密ニ結合シ、相互ニ密接ニ依屬スルモノニシテ、而シテ相互ニ均衡ヲ保タネバナラヌ。例ヘハぶらじるヤきやなだヤあるぜんちん等ニ於テ見ルガ如ク、人口ノ稀薄ナル國ニ於テハ、土地ハヨク利用サレルコトハ出來ナイ。又カカル國ニ於テハ人口ノ密度ノ小ナル上ニ資本モ乏シカラザルヲ得ナイ。之レニ反シテ佛蘭西ニ於ケルカ如ク、人口ノ停滯セル國ニアリテハ、資本ハ有益ニ運用サレル爲メニ外國ニ投下ノ途ヲ求メネバナラヌ。重商主義ノ舊說、卽チ一國ノ眞ノ富ハ其ノ人口デアルト云フ說ハ、今日モ之ヲ奉ズル人々ニ乏シクナイガ、夫レハ人口ト共ニ他ノ二因素、卽チ土地及ビ資本ガ存在スル以上ニ於テ正當デアル。總テノ人間ハ消費者デアル。併シ只其ノ一部分ノミガ、「消費基本」ノ生産ニ協力ヲ

致スノデアル。一國ノ生産能力ヲ判斷セントスルニ於テハ、種々ナル因素ヲ斟酌シテ考ヘネバナラヌガ、其等ノ諸因素ノ中デ、最トモ主要ナルモノハ、人口ノ最大部分ノ屬スル年齡部類及ビ男女ノ割合デアル。

英、獨、佛、伊、及ビ米國等ニ於テ人口一萬人ニ就テノ各年齡部類ノ割合ハ左ノ如クデアル。

	十五歲以下	十五歲ヨリ六十歲マデ	六十歲以上
獨逸（千九百年）	三四八〇、	五七四〇、	七八〇、
英國（千九百年）	三三四二、	五九二八、	七四〇、
佛國（千九百一年）	二五九八、	六五〇七、	八九七、
伊國（千九百年）	三四二、	五六二七、	九七一、
米國（千九百年）	三四四七、	五九二〇、	六四三、

十五歲ヨリ六十歲マデヲ活動年齡トシテ計算スルト、右ノ表ハ一例トシテ掲ゲタル右ノ五ケ國ノ間ニ於テ生産能力ノ同一ナラザルコトヲ明白ニ證明スルモノデアル。而シテ是レぱるろどガ其ノ諸國民ノ順當生命ニ關スル研究ニ於テ十分ニ證明セルモノデアル。

男女ノ割合ニ關シテハ、女子千人ニ就テ男子ノ割合ハ左ノ如クデアル。

獨逸（千九百五年）	九七一、	
佛國（千九百一年）	九六九、	
英國（千九百八年）	九三六、	
米國（千九百年）	一〇四九、	
濠洲（千九百七年）	一一一三、	

但シ今日デハ女子モ種々ナル職業及ビ勞働ニ從事シ、隨フテ生産ニ協力シテ來タカラ、右ノ表ニ示スガ如キ男女ノ割合ハ、重要ヲ失フテ來タ。是レ女子モ亦「消費基本」ノ生産ニ協力シテ來タカラデアル。而シテ此ノ方面カラ見レバ、次ノ表ハ重要デアル。

人口千人ニ就テ生産者ノ割合

國	年代	生産者	人口千人ニ就テ男子生産者	人口千人ニ就テ女子勞働者
獨逸	一九〇七、	四五五、	九一一、	三〇四、
澳太利	一九一〇、	四三三、	九一五、	四三四、
匈牙利	一九〇〇、	四四一、	九七四、	二六七、
伊太利	一九〇一、	四四〇、	九八〇、	三三四、
瑞西	一九〇〇、	四六九、	九六〇、	二九五、
佛蘭西	一九〇六、	四三三、	九六八、	三九〇、
和蘭	一九〇九、	四八六、	五九三、	一八三、
丁抹	一九一一、	四三五、	九六〇、	二六一、
瑞典	一九〇〇、	四八四、	五六八、	二一〇、
諾威	一九一〇、	四六八、	五九一、	二三〇、
英蘭土	一九一一、	四三一、	六三六、	二三九、
濠格土	一九一一、	四四四、	六三八、	二四二、

愛蘭土	1811、	四二、	六五、	1841、
米國	1800、	八四、	六二、	1841、

もむばーとハ更ニ獨逸ノ人口ヲ分析スル多數ノ表ヲ擧ゲテ詳シク吟味シ、且ツ之ヲ他ノ諸國ノ人口ト比較シテ考察シ、而シテ戰爭ニヨリテ今ヤ富國ヨリ貧國トナツタ獨逸ガ、其ノ資本ト勞働力トヲ、經濟的性質ノモノデナイ仕事ニ於テモ、巧ミニ運用スルコトニヨリテ、其ノ富ヲ恢復シ得ルコトヲ論結シテ居ル。